

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスSOALA三国が丘校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動により子どもたちが通所を楽しみにし、保護者にも安心感を持ってもらっている点です。	保護者参加型でのイベントを増やしたこともあり、どんなことをしているかが見えやすくなり、保護者の方にも楽しんでいただけるような機会が増えました。また、保護者の方への報告連絡、相談対応に関しては迅速に行うことを心がけています。	地域の園や地域で生活している方々との結びつきを強化し、職業学習体験などさらに多くの本物体験ができるよう活動の幅を広げていきます。
2	安全で清潔な環境を保ち、部屋の目的を分かりやすくすることで、子どもたちが過ごしやすい環境を作っている点です。	毎日の清掃、こまめな消毒を心がけ、清潔に保つよう心掛けています。 安全のため、子どもたちが入れる部屋を制限し、それぞれの部屋もイラストを掲示し、視覚的に部屋の目的を明確にして未就学の子どもたちでも理解しやすいようにしています。	使ったものを片付けられていない子どもたちが多く、物の大切さや家の外でのマナーもしっかりと支援していきたい。また、教具も子どもたちが片付けしやすくするような工夫を取り入れ、興味を継続して引き出せるようにメンテナンスしていきます。
3	保護者の方々に支援内容の報告やお子様の様子をお伝えしたり、保護者の方同士で交流する機会となる「そあらのひろば」を実施しています。	「そあらのひろば」になかなか参加できない方もいるため、事業所での活動の様子をまとめた新聞を作り、お渡ししています。また、子育てに関する相談ができる場にもなっています。	ペアレントトレーニングもより周知でき、参加者が増えるような働きかけをしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいのない児童との交流の機会は公共の場所での活動や公園遊びなどがあるが、まだ少ない点です。	地域に開かれた施設を使って（例えば地域のコミュニティセンターなど）の活動などがあまり用意できていないことです。	地域の保育所や幼稚園、地域で生活をしている方との繋がりを強化し、合同での活動を企画するなど活動の幅を広げていく必要があります。地域の児童館や学童など地域に開かれた施設や地域で生活をしている方との繋がりを強化し、合同での活動を企画するなど活動の幅を広げていきます。
2	災害時に向けての取り組みがあまり周知できていないことです。	月に一度防災学習や避難訓練を行っているが、その取り組みの様子などの発信があまりできていないことです。	事業所で行っている取り組みの発信方法を工夫する。日々の送迎時のお話や保護者会時、さらにSNSによっても発信することで周知を図っていきます。
3			